

令和2年度第1回守谷市図書館協議会会議録

- 1 期日等 書面による開催（9月15日（火）～10月2日（金））
- 2 委 員 長谷川委員長
野口副委員長
大塚委員
田中委員
唐木田委員
赤堀委員
赤山委員
中野委員
堀越委員
三澤委員
- 3 事務局 中央図書館
- 4 報告事項 （1）令和2年度守谷市立図書館事業計画について
（2）令和2年度もりやの図書館等概要について
（3）新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
（4）令和元年度中央図書館事業実績について

配布資料に対する質問等及び回答

赤堀委員：緊急事態宣言下での図書館休館は致し方ないことであったと思います。そんな中、電子図書館の利用が増えたということは、これから住民の高齢化が進んで図書館に来館するのが難しくなった高齢の利用者への代替手段の提案として検討すべきではないかと感じました。

令和元年度から特に力を入れて進めていた学校図書館の充実、支援等は今春の全国一斉休校で少なからぬ影響をうけたのではないかと想像するのですが、そのことについては特に述べられていませんでした。休校中の学校図書館の勤務態勢やその間に取り組まれたこと、できなかったことなどがあれば「現状報告」として記録しておくべきではないかと思いますが、いかがでしょうか？

「令和2年度事業計画」9～10頁の表の現状値について、9頁がH31.4.1に対して10頁はH29.4.1になっている理由について、その説明が必要だと思えます。

事務局回答：電子図書館については、提供する側と利用される側の双方に、少なからず課題が存在することを実感しています。また、一般にご高齢の方が電子図書館を使いこなすことは容易ではないと考えます。しかしながら、より多くの方にご利用いただくための対策を講じていく必要がありますので、今後の課題とさせていただきます。

今年度当初の学校図書館支援の詳細については、次の機会にご報告いたします。

「令和2年度事業計画」9～10頁の表の現状値については、両頁とも「H31.4.1」の数値となりますので、10頁の表記を訂正させていただきます。申し訳ありませんでした。

赤山委員：分室とのネットワーク（図書等の配送）の頻度はどのくらい（週何回等）ですか。

図書館サービスのあり方もいわゆる「新しい生活様式」に対応していくことが求められるであろうと予想されます。そのため、現在の感染予防策の継続とともに、以下の点について図書館サービスの充実を要望したいと思います。

- ・分室（公民館図書室）における図書館サービスの充実

- ・電子図書館の蔵書充実
- ・電話およびメールによるレファレンスサービスの充実
例) レファレンスの広報, レファレンス協同データベースへの積極的な事例登録

事務局回答：公民館図書室への配送は、公民館図書室の開室日については全日実施しています。通常は、一月当たり、全館休館日と公民館休館日の合計2日間のみ休止となります。また、毎週木曜日に職員が各公民館図書室を巡回し、公民館図書室の図書館奉仕員との連絡調整を実施しております。

守谷市は市内の中学校区当たり1館の公民館が設置されており、市内4つの公民館すべてに図書室を併設しています。資料の貸出・返却、予約資料の受取りなど、基本的なサービスはすべて図書館と同等のものとなっております。また、各図書室で解決が困難な案件については、随時、中央図書館の職員が引継いで対応しております。今年度に入り、各館の利用数が減少する中、郷州公民館図書室においては、7月以降の貸出数が、前年度を上回る実績をあげております。今後、利用者の皆さんが気軽に、また便利に利用できる図書室運営に努めてまいります。

電子書籍は、購入できるタイトルが限定されるため、魅力ある蔵書構成とするための資料選定に苦慮しているところです。しかしながら、可能な範囲において定期的に新しいタイトルを購入し、蔵書の充実を図っていくことに努めてまいります。

レファレンスの充実については、利用者への周知と職員のスキルアップの両輪で進めていく必要があります。これまでどおり、定期的な広報紙等での周知及び職員の積極的な研修への参加及び事例登録等に努めてまいります。

田中委員：「基本方針」の中の「目指す姿」を実現すべく、コロナ対策を実施しながら通常の図書館としてのサービス（機能）をできる限り提供していただけることを要望致します。

事務局回答：ご意見のとおり努めてまいります。

野口副委員長：「令和2年度守谷市立図書館事業計画」の4頁にある4つ目の柱のなかの活動④が「多言語サービス」となっていますが、7頁では「多文化サービス」となっています。表記を統一したほうがよいと思います。

事務局回答：「多文化サービス」に統一いたします。

三澤委員：インターネットのID取得について質問させていただきます。大変良い取組だと思いますが、IDを取得する場合に個人情報を入力すると思いますが、その際のウイルス（セキュリティ）対策はどうなっているのでしょうか。

事務局回答：守谷中央図書館のWebサイトは、SSLに対応しております。SSLについて、次のとおりご説明いたします。

SSLとはSecure Sockets Layerの略であり、インターネット接続を安全に保ち、2つのシステム間で送信される機密情報をすべて保護し、犯罪者があらゆる情報（個人情報の可能性がある情報を含む）を読み取ったり改変したりできないようにするための標準的な技術です。ユーザーとサイトの間、または2つのシステム間で送信されるデータを一切読み取れないようにすることで、セキュリティを強化します。